

<http://www.geocities.jp/woodwood77777/gcc.htm>

--	--
-o filename	実行可能ファイル名の指定
-c	コンパイルのみ行いリンクしない
-Wall	ワーニングを全て表示する
-O1	最適化を行なう。
-O2	さらに最適化を行なう。
-O0	最適化を行なわない。
-llibrary	library をライブラリとしてリンク時に使用する。
-v	(標準エラー出力に対して) コンパイルの各ステージで実行されるコマンドを表示する。コンパイラドライバ、プリプロセッサ、コンパイラの各バージョン番号も表示する。
-M	依存関係を表示する。コンパイルは行わない。 例：gcc -M hoge.c
-g	デバッグ情報を生成
-s	実行可能ファイルのサイズがかなり減少する。 (シンボル情報を省くことによる)
-shared	共有ライブラリを作成する